International Family Nursing Association

International Family Nursing Association（IFNA, 国際家族看護学会）

ジェネラリストの家族看護実践能力についての

ポジション・ステートメント

国際家族看護学会家族看護実践委員会 IFNA Practice Committee

Kathryn Hoehn Anderson, PhD, ARNP, LMFT（米国）

France Dupuis, Inf., PhD　（カナダ）

Janice Bell, RN, PhD（カナダ）

Norma Krumwiede, EdD, RN（アメリカ）

Cristina Garcia Vivar, PhD, MSc, RN（スペイン）

Li-Chi Chiang, RN, PhD（台湾）

Michiko Moriyama, RN, MSN, PhD（日本）

Francine de Montigny, Inf., PhD（カナダ）

Maria Ceu Barbieri Figueredo, RN, MSc, PhD（ポルトガル）

Christina Nyirati, PhD, FNP-BC（アメリカ）

日本語翻訳：Translation by:

Junko Honda　本田順子

Naohiro Hohashi　法橋尚宏

はじめに

国際家族看護学会のこのポジション・ステートメント（基本方針表明）は，家族を支援する際の看護実践を導いたり，看護師教育に焦点を合わせるために，学部教育レベルもしくはジェネラリストレベルの看護師の能力を提供するものである．これらの能力は，家族看護に関する次の前提や考えにもとづいている．

健康

- ひとの健康は，家族によって経験される双方向の動的プロセスである．
- ひとの健康は，健康と病いの相互作用を含んでいる．
- 家族の健康は，集団としての健康と個人の健康の相互作用の集合を包含し，生物心理的社会的と文脈的な現象の相互作用を反映している．

看護

- 看護師は，家族と社会の健康を支援するための責務と倫理的義務を負っている．
- 家族と看護師は，健康行動に影響を与える健康ビリーフをもっている．
- 家族看護を実践する看護師（家族看護師）は，関係を通じて自身の経験と家族の経験を共に発展させ，成長する．
- ケアリングの相互作用，知識のある家族看護師と家族との協働は，家族の健康を目指して活動することを促進する．
- 家族看護実践は，家族と健康との相互関係，家族の健康のダイナミクスにおける影響の多様なレベル，家族と家族員と看護師との関係，家族と社会（背景）との関係を考慮することである．
- 家族看護師は，健康や病いのケアニーズがあるすべてのタイプのヘルスケアの場で，多様な個人と家族のニーズに関心を向け，関わる．

家族

- 家族は，家族の健康ビリーフ，目標，行動に影響を与える固有の能力，強み，独自の相互作用のプロセスをもつ．
- すべての家族は，家族の生活の質（QOL）と家族の健康を変化させる能力をもつ．
- すべての言語的・非言語的家族コミュニケーションには意味がある．
- すべての家族は，家族の健康と家族の生活に不可欠な文化的な伝統をもつ．

International Family Nursing Association

重要な理論的または知識的背景

- 家族看護理論
- 家族発達理論
- 家族システム理論
- 個人と家族の健康経験の双方向性（相互影響）
- 看護師と家族間の関係構築
- 家族への介入的質問能力
- 施療的会話のもち方
- 臨地的アセスメント，意思決定，家族への介入技術
- 家族の健康体験や家族看護実践に関する最新の科学的根拠または実践にもとづいた文献の活用
- それぞれの家族の背景や文化的慣習を包含した，文化的に感受的なアプローチ

International Family Nursing Association

ジェネラリストの家族看護実践能力

1. 家族の健康を向上し，増進する．
2. 家族の強みに対する看護実践，家族と個人の成長への支援，家族のセルフマネジメント能力の改善，人生の転換の達成の促進，健康の管理と改善，家族資源の動員に焦点をあてる．
3. ユニットとしての家族と家族員個人の健康を推進するために看護師が家族と相互作用することで，日常のいたるところで日々の実践で起きている家族の健康や病いの経験を改善する機会の開発と持続可能性を看護師が確保する．
4. 看護師の家族への看護行為と家族の反応の評価にもとづき，自己内省的実践に従事する．
5. 科学的根拠にもとづいたアプローチを実践する．

コア看護実践能力	1）家族の健康の強化と促進
1.1	家族理論，家族看護理論，家族のダイナミクス，健康と病いのダイナミクスの背景的知識を実証する．
1.2	健康や病いに対する家族の反応がどのように相互作用しているかを評価する．健康や病いと家族の反応との間で，どのような相互影響があるかを特定する．
1.3	家族看護ビリーフの重要性，それが家族の健康促進，病いの管理，健康回復におよぼす影響を実証する．
1.4	社会的環境の中で，家族の文化的，状況的な特質を考慮に入れる．
1.5	家族と患者の健康とケアの目標を達成するために，看護師と家族のパートナーシップを実証する．
1.6	個人の健康や病いの背景，ニーズ，目標を家族アセスメントに統合する．
1.7	家族との臨地における意思決定に，健康増進と病いの管理の原則と行為を包含する．
1.8	情報にもとづいたヘルスケアの意思決定を行うために，知識と自己効力感を家族に付与する．
1.9	患者と家族とともに特定した目標に取り組むために，個人と家族の健康を促進する介入を開発する．
1.10	ヘルスケアシステムと地域環境の中で実施しているケアの方向性とコミュニケーションのために，家族の効果を家族とともに評価する．
1.11	患者と家族の基本的権利を保護するように行動する．
1.12	家族のプライバシーと機密性の権利を確保する．
コア看護実践能力	**2）家族の強みに焦点をあてた看護実践，家族と個人の成長の支援，自己管理能力の向上，順調な人生の転換の促進，健康の改善と管理，家族資源の動員**
2.1	分析の単位としての家族を用いた患者へのケアを行う．
2.2	施療的会話／コミュニケーションとケアに家族員を含み，関わる．
2.3	家族アセスメントと介入で用いられる家族看護技術に含まれる施療的会術を活用する．
2.4	有用な質問（直線的な質問と介入的な質問の両方）を組み込む．
2.5	個人と家族の両方のケアニーズに合った概念的，知覚的，管理的な能力を統合する．
2.6	家族の強みを検討し，健康問題，家族ビリーフ，家族のダイナミクスを含む家族アセスメントを実施する．

International Family Nursing Association

2.7	家族とともに家族の健康への介入計画を立てる際，家族の強みと心配事を包含する．
2.8	資源の導入，ケアニーズの調整，家族が健康と病いに関する心配事について話し合うことの支援，健康や病いに対処する解決策の開発というような，具体的な介入の開発に家族を参加させる．
2.9	フォローアップのニーズに対応するための推薦や紹介をする．
2.10	ケアの過程で，家族介入の妥当性と効果を家族とともに評価する．
2.11	職業基準にしたがった事例記録やデータベースに，家族看護支援に関する妥当な情報とデータを記録する．
2.12	急性期，地域ベース，長期的な個人や家族へのケアを含む，様々なケアのレベルと場所における安全で効果的な転換を促進する．
コア看護実践能力	**3）日々の実践とすべての場面にわたって家族への看護ケアの質を保証するために，リーダーシップと体系的な思考技術の実践**
3.1	健康と病いの経験中に，医療現場と地域において家族を権利擁護（アドボケーション）する．
3.2	ロールモデルあるいは資源（メンター）となる．
3.3	すべてのケア環境において，組織的また地域的なレベルで家族看護を促進するための様々な活動（研修，新人へのオリエンテーション，家族ケアのための教育機会のサポート，文書管理システム）に関わる．
3.4	ヘルスケアシステムにおいて，家族看護実践を発展，先導する行動をとる．
コア看護実践能力	**4）家族とともに自己内省的実践に関与**
4.1	ビリーフ，価値観，態度，判断，強み，限界を含む健康と病いにおける家族に関する自分の期待を明らかにし，自らの方法を振り返る．
4.2	看護師と家族の貢献と相互作用を通して共に進化する関係の中で発生している家族看護を認識する．
4.3	看護師の活動に関する自己のリフレクションを可能にするために，介入の方略と家族の進歩の達成について家族からの意見を求めることによって評価する．
コア看護実践能力	**5）科学的根拠にもとづく実践**
5.1	健康における家族や社会システムの重要性を認識した看護師と家族の実践モデルを適用する．
5.2	家族のアセスメントと介入，家族ケアを裏付ける科学的根拠にもとづいた研究と実践を活用する．

International Family Nursing Association

以上のジェネラリストと学部教育レベルの家族看護実践能力は，国際家族看護学会の「免許交付前の家族看護教育におけるポジション・ステートメント（Leibold et al.，2013，p.4）：免許交付前のすべての看護学生は，個人の健康とウェルビーイング，そして家族に焦点を当てたアセスメント，計画，実施，評価にとって，家族の重要性を学習しなければならない」と一致している．
http://internationalfamilynursing.org/wordpress/wp-content/uploads/2015/07/FNE-Print-friendly-PDF-document-in-color-no-photos-English-language.pdf

IFNA ポジション・ステートメント翻訳版は下記の Web サイトにて提供中
http://www.internationalfamilynursing.org

Cite this document:

International Family Nursing Association (IFNA) (2015). *IFNA Position Paper on Generalist Competencies for Family Nursing Practice.* Retrieved from http://internationalfamilynursing.org/wordpress/wp-content/uploads/2015/07/GC-Complete-PDF-document-in-color-with-photos-English-language.pdf

International Family Nursing Association